



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

平成 29 年度 11 月号

響け クラスの歌声

校長 水野 茂

今年も音楽室や教室から歌声が聞こえてくる季節になりました。11月9日の文化発表会「合唱」に向けて、どのクラスも一生懸命練習を重ね、仕上げてくると思います。先週、3年生のあるクラスの練習を参観させていただきました。声量、声のまとまり、迫力、そしてクラスの合唱をつくりあげようとする姿勢、どれをとっても3年生らしさを感じました。練習の歌声に、ゾクとしたほどです。

旭中学校の合唱はコンクールではありません。ですので、最優秀、金賞など、順位はつきません。他市町の中学校で、コンクールでない合唱の学校はあまり聞いたことがありません。賞をめざしてみんなでがんばる合唱と、賞はないけどみんなで作りあげる旭中の合唱を比べたことはありませんが、毎年、感動をもらえるクラスの歌声を響かせてくれています。これまでの先輩たち、そして先生たちも、賞のない旭中の合唱を誇りとしてきました。下はあるクラスの朝の黒板に書かれた担任の先生からのメッセージです。

…練習でやってきた以上のことは、本番ではなかなかできないもの。やはり本番で「やりきった」「気持ちよかった」と感じて終わってほしい。「声」はひとり一人みんな違う。世界中、似た声の人はたくさんいるけど、同じ声の持ち主はいない。君の声は世界でただひとつの“特別なもの”。それを何かの縁でめぐりあった34人が出し合って、ひとつの曲をつくるんだ。それは世界にたったひとつの“特別な歌”になる。そして、それを多くの人に聴かせられるたった1回のチャンスのために作りあげる。…

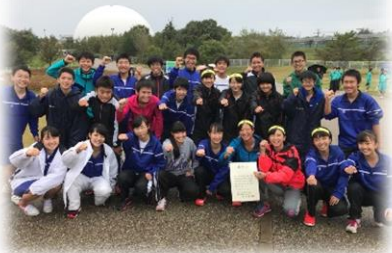


おそらくクラス全員で一つのことに打ち込める今年最後の機会になります。どのクラスも最高の合唱、世界でたったひとつの特別な歌をみんなで作りあげてください。そして、賞や順位よりも大切なもの、かけがえのないものを感じとり、みんなで共有してください。 昨年度3年生の歌う姿→

つながる旭中の襷 駅伝愛日大会

10月28日(土)、愛地球博記念公園を会場に、駅伝愛日大会が開かれました。旭中からは男女とも2チームずつエントリーし、冷たい雨の中、声援を受け、どのチームも熱い走りを見せてくれました。女子代表チームが5位に入賞し、11月18日新城で行われる県大会への出場権を獲得。それは、夏から部員みんなで競い合いながら走り込んできたことによる結果です。今年も「駅伝の旭中」が健在し、「旭中の襷」が確実にチームの中に、そして学校の中につながりました。

県大会に向けて、引き続き大きな応援をお願いします。



明るい社会づくり 実践体験文発表会

10月29日(日)、新池交流館・ふらっとにて、瀬戸地区の平成29年度「明るい社会づくり実践体験文」の発表会・表彰式がありました。旭中学校からは、4名の3年生が賞をいただきました。中部善意銀行賞の小島 遙さんは、「手と手と会話」と題し、手話教室に家族と出かけたことをきっかけに、人とのつながりや福祉について考えるようになったこと、自分自身を見つめなおしたことを、会場の人たちに語りかけました。

優秀賞 新ヶ江美穂さん
「障がい者について知る。」
奨励賞 高木 美空さん
「ありがたいという気持ち」
奨励賞 亀谷 雛生さん
「学校生活内の多数決」



学校公開から

10月27日、今年度最後の学校公開では、たくさんの保護者の方に参観していただくことができました。ありがとうございました。

ある若い先生の記録です。「2度目の学校公開が終わりました。やはり初めての時と同じように緊張してしまいました。子どもたちの様子もいつもと違い、授業をするのがとても難しく感じました。すっかり自信をなくして教室を出たとき、ある保護者の方から声をかけていただき、とても救われました。『子どもが、いつも先生が書いてくれるコメントや表彰状がうれしいって言ってます。ありがとうございます』と言われ、本当に嬉しかったです。小さなことでも、こうやって子どもたちや保護者の方々に響いているんだなと思いました。これからも続けていきたいです。……」

上の記録から、この生徒の家庭では、普段から親子の会話がちゃんとされていることがうかがえます。学校であった嬉しかったこと、つらかったことをいつも家のひとに聞いてもらっている様子が見えてきます。そして、先生に「うれしいこと」を伝えてくださったことが、先生の大きなエネルギーと励みになっています。先生たちは、子どもたちからエネルギーをもらいますが、間違いなく保護者の皆さんからいただいています。



学校公開では、下の写真のように、廊下から授業の様子をご覧になっている方が多かったです。それは、今回に限ったことではありませんが、教室の後ろのスペースが狭いこと、入りにくい雰囲気があることが理由かと思います。やはり教室に入って観ていただけるように、学校も考え、工夫して参ります。



廊下など教室の外で、保護者の皆さんの話し声が響き、授業に影響したことは、ご協力をいただくことで改善したい点です。よろしく願いいたします。

夢と絆の講演会

下記の通り、今年も「夢と絆の講演会」を開催します。今年の講演会は、旭中学校開校70周年記念事業の目玉として行います。地域の方々に記念事業への協賛をお願いしたところ、56の個人・団体から、総額607,680円の協賛金をいただきました。今回の講演会費はすべてここから出させていただきました。保護者の参観は可能ですが、お席のご用意はできませんので、ご了承ください。

幾多の困難を乗り越えて、「ひとつひとつ、少しずつ」オリンピックへの階段を上っていった鈴木明子さんのお話は、きっと中学生の心に響くものと期待しています。

記

日時 11月17日(金) 13時30分～14時40分
※13時30分までに会場にお入りください。

会場 旭中学校体育館

講師 鈴木 明子 氏

(ソチオリンピックフィギュアスケート日本代表)

演題 「ひとつひとつ、少しずつ」

Jアラート緊急情報発信時の対応

Jアラートにより緊急情報が発信された際の生徒の行動は次の通りとなります。

1 登校前(在宅時)

学校から連絡があるまで自宅待機

2 登下校中および下校後屋外にいる場合

近くの建物に避難する。近くに適当な建物がない場合は物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

3 登校後

授業などで屋外にいる児童生徒は校舎に入り、できるだけ窓から離れ頭部を守る。

上記のように学校では指導していきます。ご家庭においても、お子様とご確認くださいますようお願いいたします。